

令和3年度
事業報告書

目次

令和3年度 重点目標の取り組みと成果	1
令和3年度 事業報告	
Ⅰ 法人運営事業 <拠点区分1>	2
1 法人運営事業	
2 基金運営事業	
Ⅱ 地域福祉推進事業 <拠点区分2>	7
1 地域福祉活動推進事業	
2 自治会型デイホーム事業	
3 ふれあい食事サービス事業	
4 ボランティアセンター事業	
5 共同募金配分金事業	
6 日常生活自立支援事業	
7 生活福祉資金貸付事業	
8 法人後見事業	
Ⅲ 子ども・子育て支援事業 <拠点区分3>	18
1 児童館事業	
2 放課後児童会事業	
3 放課後児童クラブ事業	
4 地域子育て支援拠点事業	
5 子育てひろば事業	
6 ことばの教室事業	
Ⅳ 駐車場運営事業 <拠点区分4>	23
Ⅴ 自動販売機設置運営事業 <拠点区分5>	23
Ⅵ 関係機関団体への支援・協力	24
Ⅶ 共同募金運動への協力	26
<資料編>	
資料1 令和3年度財政安定化計画実施計画進捗状況	27
資料2 福祉委員・民生児童委員等合同研修会実施状況	28
資料3 令和3年度 啓発・ふれあい事業実施状況	29
資料4 第3次地域福祉活動計画20の取り組み 推進状況	30
資料5 令和3年度自治会型デイホーム事業地区別利用者参加率	32
資料6 児童館利用実績	33

<略号について>

- (1) 【活動計画 No〇】の表示は、第3次地域福祉活動計画に基づいて、取り組んでいる事業の項目番号を表しています。
- (2) 資料〇の表示は、関係する資料が資料編にあることを示しています。
- (3) ㊦の表示は、令和3年度からの新規事業であることを表示しています。

令和3年度 重点目標の取り組みと成果

はじめに

令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大とその対応に追われた1年となりました。本会の事業でも、感染拡大に伴ってやむを得ず中止や延期に踏み切ることもありました。しかし、完全に中止してしまうと、日々の暮らしが立ちいかなくなる事業もあります。そのため、安全対策や危機管理体制を強化し、分散勤務など知恵と工夫を凝らしながら事業の継続に努めました。また、オンラインツールを生かして、開催に踏み切った事業もありました。

また自治会型デイホーム事業では、前年度に引き続き、地区社協の協力を得て、「おうちでもデイホームセット」（脳トレ、筋力アップ資料、小物づくりキット、健康情報等）を高齢者等に配布し、介護予防を推進しました。

生活福祉資金の貸付では、通常の制度に加え、今年度もコロナに伴う休業や失業者への特例貸付に対応しました。相談対応件数は、例年の約20倍にのびりました。

児童館（放課後児童会）事業については、児童厚生員が通年欠員状態となるなど、深刻な人材不足が続いています。引続き待遇改善とともに、子育ての拠点としての魅力や働き甲斐のある職場づくりが課題となっています。

令和3年度は、以下の重点目標を掲げ事業を推進しました。

1 第3次地域福祉活動計画の推進と第4次地域福祉活動計画の策定

令和3年度は20の事業のうち11の事業に取り組みました。また、関係機関・団体懇談会や福井市又は本会が行った各種調査から地域福祉活動に関する課題及びニーズを抽出するとともに、全6回の策定委員会を開催し、第4次地域福祉活動計画を策定しました。

2 財政安定化計画の推進と中期経営計画の策定

財政安定化計画について、財源確保策8項目、経費削減策3項目の取り組みを行いました。事務局内で4半期ごとに進行管理会議を行いました。また、今後の中期的な方針を示した中期経営計画の策定を行いました。

3 権利擁護事業の拡充

認知症高齢者や知的障がい者及び精神障がい者など、金銭管理等を支援する日常生活自立支援事業と合わせ、家庭裁判所の承認を得ながら財産管理等の支援を行う法人後見事業を実施しています。また、成年後見制度利用促進のための中核機関の受託について福井市と協議を行いました。

令和3年度 事業報告

I 法人運営事業

<拠点区分1>

1 法人運営事業

公益性の高い法人として、透明かつ公正な運営を行うため、理事会で諸課題を協議するとともに、法人運営や会計処理を適正に行うため、法律、会計の専門家の協力を得て適正な運営に努めた。また、財政の健全化を図るため、財政安定化計画実施計画の推進項目に取り組んだ。

(1) 三役会 (5回)

- ① 5月31日 (月) 福井市社会福祉協議会 会議室
- ② 8月18日 (水) 福井市民福祉会館 3階 301号室B
- ③ 10月11日 (月) 福井市社会福祉協議会 会議室
- ④ 12月 6日 (月) 福井市民福祉会館 4階 ボランティアルームB
- ⑤ 3月11日 (金) 福井市民福祉会館 3階 301号室B

(2) 理事会 (10回)

- ① 第1回 4月1日 (木) 決議の省略の方法にて開催
第1号議案 令和3年度第1回評議員会の開催について
- ② 第2回 4月1日 (木) 決議の省略の方法にて開催
第2号議案 専務理事の選任について
報告事項 理事の退任に伴う補欠の選任について
- ③ 第3回 6月7日 (月) 福井市民福祉会館 3階 301号室A・B
第3号議案 任期満了に伴う理事及び監事候補者の推薦について
第4号議案 任期満了に伴う評議員選定委員の選任について
第5号議案 任期満了に伴う評議員候補者の推薦について
第6号議案 第1回評議員選定委員会の開催について
第7号議案 令和2年度福井市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について
第8号議案 令和3年度資金収支第1次補正予算の同意について
第9号議案 令和3年度第2回評議員会の開催について
- ④ 第4回 6月28日 (月) 福井市民福祉会館 3階 301号室A・B
第10号議案 会長の選任について
第11号議案 副会長の選任について
第12号議案 専務理事の選任について
報告事項 第1回評議員選定委員会の結果について
- ⑤ 第5回 10月18日 (月) 福井市民福祉会館 4階 ボランティアルームA
協議事項 奈良市及び岐阜市社協との災害時等における応援協定について
報告事項 職務執行状況の報告について
令和4年度職員募集・採用試験結果について
その他 第4次福井市地域福祉活動計画の策定について

- 中期経営計画の策定について
 令和4年度からの新規事業について
 ア 成年後見制度利用促進体制（中核機関）の整備について
 イ 福井市における福祉総合相談体制の整備について（案）
- ⑥ 第6回 12月15日（水） 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA
 第13号議案 令和3年度資金収支第2次補正予算の同意について
 第14号議案 令和3年度第3回評議員会の開催について
 報告事項 第4次福井市地域福祉活動計画の素案について
 協議事項 中期経営計画の素案について
 その他 成年後見制度利用促進のための中核機関職員募集について
 児童館職員の募集について
 福井市・岐阜市・奈良市社会福祉協議会災害時等における相互
 支援に関する協定の締結について
 福井刑務所の社会貢献作業協定の締結について
- ⑦ 第7回 1月21日（金） 決議の省略の方法にて開催
 第15号議案 令和3年度資金収支第3次補正予算の同意について
 第16号議案 令和3年度第4回評議員会の開催について
 報告事項 財産の売却について
 協議事項 中期経営計画の素案について
- ⑧ 第8回 2月16日（水） 決議の省略の方法にて開催
 第17号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
 第18号議案 第2回評議員選定委員会の開催について
- ⑨ 第9回 3月16日（水） 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA
 第19号議案 令和3年度資金収支第4次補正予算の同意について（説明のみ）
 第20号議案 補欠の理事候補者の推薦について
 第21号議案 補欠の評議員候補者の推薦について
 第22号議案 第3回評議員選定委員会の開催について
 第23号議案 中期経営計画の策定について
 第24号議案 経理規程の一部改正について
 第25号議案 事務局の組織に関する規程の一部改正について
 第26号議案 放課後児童クラブ支援員就業規則の制定について
 第27号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
 第28号議案 非常勤職員の就業に関する規程の一部改正について
 第29号議案 児童館職員の就業に関する規程の一部改正について
 第30号議案 児童館管理運営要綱の一部改正について
 第31号議案 放課後児童クラブ事業運営要綱の一部改正について
 第32号議案 地域福祉基金の一部処分について
 第33号議案 令和4年度資金運用計画について
 第34号議案 令和4年度事業計画及び資金収支予算の同意について（説明のみ）
 第35号議案 令和3年度第5回評議員会の開催について
 報告事項 第2回評議員選定委員会の結果について
 その他 令和3年度会員会費募集状況
- ⑩ 第10回 3月16日（水） 決議の省略の方法にて開催
 第19号議案 令和3年度資金収支第4次補正予算の同意について

第34号議案 令和4年度事業計画及び資金収支予算の同意について

(3) 評議員会 (5回)

- ① 第1回 4月1日(木) 決議の省略の方法にて開催
第1号議案 理事の退任に伴う補欠の選任について
- ② 第2回 6月28日(月) 福井市民福祉会館2階 小ホール
第2号議案 任期満了に伴う理事及び監事の選任について
第3号議案 令和2年度福井市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について
第4号議案 令和3年度資金収支第1次補正予算の承認について
報告事項 第1回評議員選定委員会の結果について
その他 令和3年度市社協会員会費の募集について
- ③ 第3回 12月16日(木) 決議の省略の方法にて開催
第5号議案 令和3年度資金収支第2次補正予算の承認について
- ④ 第4回 1月24日(月) 決議の省略の方法にて開催
第6号議案 令和3年度資金収支第3次補正予算の承認について
- ⑤ 第5回 3月25日(金) 福井県社会福祉センター4階 1・2研修室
第7号議案 令和3年度資金収支第4次補正予算の承認について
第8号議案 補欠の理事の選任について
第9号議案 地域福祉基金の一部処分について
第10号議案 令和4年度事業計画及び資金収支予算の承認について
報告事項 第2回評議員選定委員会の結果について
第3回評議員選定委員会の結果について

(4) 評議員選定委員会の開催 (3回)

- ① 第1回 6月11日(金) 福井市社会福祉協議会 会議室
- ② 第2回 2月16日(水) 決議の省略の方法にて開催
- ③ 第3回 3月16日(水) 決議の省略の方法にて開催

(5) 監査の実施

監事監査 5月24日(月) 福井市社会福祉協議会 会議室

(6) 会計事務所による定期訪問監査 (4回)

(7) 顧問弁護士の配置

(8) 職員総数 482名(令和4年3月31日現在)

事務局職員 24名(常勤16名、市派遣1名、非常勤7名)

事業職員 458名(非常勤職員)

児童館(館長、児童厚生員)	84名
放課後児童会支援員	259名
児童クラブ職員(クラブ長、サブリーダー、支援員)	17名
自治会型デイホーム事業専任職員	47名
日常生活自立支援事業生活支援員	38名
生活福祉資金貸付事業臨時相談員	6名
地域子育て支援拠点事業専任職員	4名
ことばの教室相談員	3名

(9) 自主財源の確保

① 社協活動の説明状況

地区自治会連合会 7回(前年度19回)

地区社協の総会など 3 回（前年度 0 回）

② 会員会費の募集

会員会費募集の実績

区 分	実績額	前年度との比較
一般会費（年額 500 円／世帯）	34,700,775 円	1,402,116 円
賛助会費（1 口 1,000 円／個人）	9,419,538 円	△485,662 円
特別賛助会費 （1 口 10,000 円／法人・企業）	6,773,350 円	601,450 円
合 計	50,893,663 円	1,517,904 円

※特別賛助会員加入企業数 561 社（前年度 524 社）

③ 寄附金

142 件 473,563 円（前年度 178 件 1,838,738 円）

④ チャリティー物品販売（中止）

(10) 福祉サービスに関する苦情解決事業の状況

苦情受付件数 30 件（前年度 19 件）

〈苦情申出人の属性区分〉

サービス利用者家族	21 件
自治会関係者	1 件
民生委員児童委員	1 件
事業協力者	1 件
一般市民	5 件
その他	1 件
合 計	30 件

〈苦情の事業区分〉

会員会費募集	2 件
児童館事業	2 件
放課後児童会事業	24 件
共同募金	2 件
合 計	30 件

〈苦情の内容区分〉

サービス、ケアの内容に関わる事項	4 件
職員の接遇に関わる事項	12 件
制度、施策、法律に関わる事項	4 件
個人の嗜好・選択に関わる事項	1 件
その他	10 件
合 計	31 件

※1 件の苦情で複数の苦情内容に該当するものがあるため、苦情総件数と合計は一致しない。

(11) 広報啓発活動の推進

- ① 社協だより「まごころ」の発行 年 4 回 各 82,500 部(全戸配布)
- ② 点訳社協だよりの発行 年 4 回 各 33 部
- ③ 音訳社協だよりの発行 年 4 回 各 4 本
- ④ 社協のごあんない発行 年 1 回 19,000 部
- ⑤ ホームページでの情報提供 <http://www.fukuic-shakyo.jp/>

⑥ Facebook での情報提供 <https://www.facebook.com/fukuic.shakyo/>

⑦ YouTube (ふくみんチャンネル) での情報提供

⑧ 福井市社会福祉功労者表彰式 (市と共催)

開催日 10月15日 (金)

会場 福井市民福社会館 2階 小ホール

・市長表彰	11名
・市社協会長表彰	2団体 76名
社会福祉施設功労者	42名
社会福祉協議会・社会福祉団体関係功労者	11名
永年勤続功労者	5名
ボランティア功労者	2団体 10名
福祉委員功労者	8名

(12) 財政安定化計画の推進

① 令和3年度の進捗状況

資料1

実施計画に基づき取り組み項目、目標値の実現に向けて取り組んだ。

② 進行管理会議の開催 4回 (7月30日、10月27日、1月26日、3月28日)

⑬ 中期経営計画の策定

今後の中期的な方針を示した中期経営計画の策定を行った。

(14) 人事評価の実施

事務局常勤職員に対して目標管理による人事評価を行った。

(15) 衛生委員会の開催

職場での新型コロナ予防対策、ストレスチェックの実施等について協議した。

(6回)

(16) ストレスチェックの実施

労働安全衛生法の規程に基づき、ストレスチェックを実施した。

実施期間 令和3年11月1日 (月) ~ 11月30日 (火)

(17) 法人連携の推進

① 福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会への継続加入

② ふく福くらしサポート事業

近隣地域住民の生活上の困りごとに関する総合相談及び経済的支援を行った。

【支援実績】 2回 (1名) 【前年度 9回 (2名)】

【経済支援実績】 2回 (21,068円) 【前年度 3回 62,999円】

2 基金運営事業

地域福祉基金の一部を取崩し、地区社協活動啓発ふれあい事業に充当した。

(1) 地域福祉基金運営事業

基金残高 344,338,230円 (前年度 346,086,104円)

(2) 災害ボランティア基金運営事業

基金残高 1,876,282円 (前年度 1,876,258円)

II 地域福祉推進事業

<拠点区分2>

1 地域福祉活動推進事業

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、特に今年度は、新型コロナウイルスが感染拡大する状況でも地域福祉活動を継続するための活動の工夫に取り組んだ。

地区社協連絡協議会と共に地区社協役員を対象にしたオンラインツール Zoom の使い方を学ぶ研修会の開催や、本会初の試みとして、福祉委員の役割や活動への理解促進と住民による見守り・支え合い活動の重要性を伝えるための動画製作に取り組み、コロナ禍でも地域福祉活動の歩みを絶やさず活動が継続できるように ICT の活用にも取り組んだ。

第3次地域福祉活動計画を推進すると同時に、引き続き取り組む必要のある課題については継続・発展的に取り組むため、第4次地域福祉活動計画の策定に活かした。

(1) 地区社協の育成支援

地域に根ざした地域福祉活動を推進する地区社協への、相談・助言等の支援を行うとともに活動費の補助を行った。

① 地区社協ブロック担当制による支援強化、地区社協会議への参加・支援

地区社協との連携を図るブロック担当職員(他業務と兼務)を配置し、各地区社協が行う各種地域福祉活動への助言や支援、情報提供を行った。新型コロナの影響もあったが、時間短縮や少人数制等を取り入れ、感染予防に努めながら地区社協事務局会議等へ参加した。

ブロック地区社協担当者会議の開催 年 12 回

② ブロック会議等を通じた情報交換と活動の充実

③ 地区社協課題解決ミーティングの開催 1 地区

地区社協役員・事務局と、地区社協の運営や各地区の福祉課題について意見交換し、今後の活動を検討した。(コロナの影響で1地区のみ開催)

④ 地区社協運営・事業推進のための助成

地区社協育成補助金、地域福祉活性化事業助成金、福祉委員活動推進事業補助金、地区社協活動 啓発・ふれあい事業補助金、食事サービス事業補助金、自治会型デイホーム事業補助金、ブロック地区社協育成補助金

(2) ひとり暮らし高齢者等の見守り支援活動の推進強化

① 福祉委員委嘱状交付式及び研修会

開催日 4月10日(土)

会場 福井県自治会館 多目的ホール

内容 研修・「福祉委員の役割」(説明 市社協職員)
・「福祉委員活動実践報告」

(報告 湊地区福祉委員 堂下 裕幸 氏)

参加者 44名

② 福祉委員スキルアップ研修会(中止)

【活動計画No.17】

③ 地域包括支援センター等関係機関との連携

地域包括支援センターと地区社協・市社協との連携を図った。一部、地域ケア会議に出席し、支援方法の協議やグループワークを行うなど、地域課題についての話し合いへの参加や、事業所対象の研修会に協力するなどした。

④ 地区社協単位で福祉委員と民生委員児童委員、自治会長、保健衛生推進員及び見

守り関係者と研修、情報交換の場の設定 (39 地区 59 回)。

資料 2

ひとり暮らし高齢者等の見守り支援の強化やコロナ禍でもつながりを絶やさないため、福祉委員の基本的な役割についての研修や、支え合いマップを使用している情報交換会、地域包括支援センターとの連携、地区に応じた福祉委員及び見守り関係者のスキルアップのための研修会の講座等を行った。

⑤ コロナ禍での工夫した自治会型デイホーム事業、食事サービス事業を通じた見守りの実施

⑥ 支え合いマップ作成のためのツールの提供及び活用の支援

福祉委員・民生委員児童委員等合同研修会でのひとり暮らし高齢者等の見守り支援のための媒体として、支え合いマップを希望する地区へ提供した。

令和 3 年度末現在、37 地区が支え合いマップを活用している。

⑦ 福祉委員活動についての動画制作及び活用の支援 【活動計画No.14】

福祉委員活動の理解促進を図るために、福祉委員の役割や活動内容を解説した動画を制作し、福祉委員・民生委員児童委員合同研修会や地区社協総会等で活用している。

⑧ 福井市あんしん見守りネットワークへの協力

地域団体（自治会、民生委員児童委員、地区社協、保健衛生推進員等）と各種協力事業者（新聞配達、運輸運送業者、ガス・水道事業者、介護サービス事業者等）による高齢者等への見守りネットワーク連絡会で行った調査回答に協力した。

(3) 地区社協連絡協議会、ブロック地区社協の育成支援

新型コロナの感染拡大防止に努め、理事会、連絡会、ブロック会議を通じ市社協と地区社協の連携を深めた。地区社協相互の情報交換を図りながら、地区社協連絡協議会を支援した。

① ブロック地区社協活動補助金の交付

② 地区社協連絡協議会理事会の開催 4 回 (5 月、8 月、12 月、3 月)

③ 広報紙「むすんでひらいて」の発行 2 回 (9 月、3 月)

④ 地区社協活動説明会 詳細版 (中止)

⑤ 地区社協会長情報交換会 (中止)

⑥ オンラインツール「Zoom」の使い方を学ぶ研修会 【活動計画No.17】

開催日 6 月 22 日、6 月 24 日、6 月 29 日、7 月 1 日、7 月 15 日

会場 市地域交流プラザ及び市民福祉会館 4 階 ボランティアルーム A

参加者 地区社協関係者 42 名

⑦ 見守り活動に関する研修会 【活動計画No.19】

開催日 12 月 6 日 (月)

会場 福井県自治会館 多目的ホール

内容 講義 テーマ「5 年先を見据えた見守り活動について」

講師 福井県立大学 看護福祉学部 教授 奥西 栄介 氏

参加者 地区社協関係者 79 名

(4) 地区社協活動 啓発・ふれあい事業

資料 3

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ふれあい福祉まつりを例年通り開催出来なかったが、約半数の地区社協が展示物で地区社協活動の紹介を行った。地区社協の存在の周知、地区社協活動の理解、活動への参加を勧誘することを目的に、各地区社協で参加交流事業、広報事業を行った。

① ふれあい福祉まつり

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、10地区が規模を縮小して開催し、13地区が展示のみで開催した。

② 交流・ふれあい事業

地区の実情に応じて、児童と高齢者の交流事業等を開催した。

③ 地区広報

各地区社協の活動を地区社協だよりやパネル製作で広報した。

(5) 各種地域福祉活動の推進

① 社会貢献お見合い事業「社会貢献活動セミナー」(中止) 【活動計画No.6】

② 社会貢献活動の事例紹介

コロナ禍でも企業等の社会貢献活動を推進するため、当会のFacebookやボランティア情報紙で、市内企業や学校等の社会貢献活動の事例紹介を行った。

(3社、1校)

③ 中高生向けまちづくりワークショップの実施 【活動計画No.4】

「みつける！考える！福祉のまちづくりワークショップ」

	学校名	実施日	参加者
1	日新小学校4年生(2クラス)	12月15日(水) 12月17日(金)	38名

(6) 社会参加、交流の場

① 中央いきいきサロン 【活動計画No.10】

ふれあいや交流を目的としたサロンを開催し、在宅障がい者等の心身機能の向上や仲間づくりを図った。

内容	実施日時と回数、会場	参加者
茶話会、小物作り、クリスマス会等	毎週金曜日 13:00~15:30 実施回数 33回 ※中止16回(新型コロナウイルス感染拡大防止のため) 会場 ボランティアルームA	延べ264名 (前年度延べ434名)

② オープンサロン ふらっとベル 【活動計画No.10】

年齢や障がいの有無に関わらず、いつでも誰でも気軽に集うことのできる場として、ショッピングセンターの空きスペースを活用したサロンをショッピングシティ・ベルに設けた。

内容	実施日時と回数	備考
買物ついででの休憩、おしゃべり、ちょっとした困りごと相談等	毎週火~木曜日 13:00~16:00 実施回数 89回 ※中止55回(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)	延べ1,043名 (前年度延べ1,292名)

(協力いただいた社会福祉法人等)

一乗谷友愛会、おおた福祉会、新清会、竹伸会、タクティクス福井

⑦ (7) 第4次地域福祉活動計画の策定

令和4年度から令和8年度までの5か年の第4次地域福祉活動計画を策定するため、策定委員会を開催した。関係機関団体懇談会やヒアリングシート、既存の調査等で地域課題やニーズの調査を行い、計画の取り組み内容に反映した。

成果は冊子とホームページに掲載した。

資料4

- ① 策定委員 15名
- ② 策定委員会 6回
- ③ 関係機関団体懇談会 3回(10団体)
- ④ ヒアリングシート協力団体 223団体
- ⑤ 意見募集 意見提出者数 33人 意見件数 70件

2 自治会型デイホーム事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年間中止期間の通算が約3か月間に及んだ。そこで、参加を控えている利用者向けに「おうちでもデイホームセット」を活用し、ボランティアの協力を得ながら見守り活動を兼ねた介護予防、フレイル予防の普及啓発に取り組んだ。

また、デイホーム実施時は感染予防対策を十分に行いながら、安全で安心して参加できる環境づくりやデイホームメニューを行った。

(1) 実施地区と実施回数・実施箇所数

資料5

- ① 実施地区 49地区(51区域)で実施
- ② 実施回数・実施箇所数

実施回数	延べ 3,533回	(前年度 延べ 3,480回)
実施箇所数	456か所	(前年度 454か所)
- ③ 参加人数

参加人数	延べ 46,811名	(前年度 延べ 39,257名)
利用者数	延べ 36,189名	(前年度 延べ 28,257名)
実人数	7,465名	(前年度 5,963名)
協力者数	延べ 10,465名	(前年度 延べ 10,141名)
その他	延べ 157名	(前年度 延べ 155名)
- ④ 参加率

65歳以上参加率	9.5%	(前年度 7.7%)
75歳以上参加率	13.3%	(前年度 10.0%)

(2) 実施内容

- ① 必須メニュー

転倒骨折予防を目的とした「ふくいのだんどこ体操」と、認知症予防基本メニューを実施した。

また、毎月「デイホーム健康情報」を作成し、参加者に配布して介護予防、健康づくりへの意識を高めた。
- ② 通常メニュー

感染予防対策を講じながら、毎年実施する利用者アンケートも参考に、健康体操やレクリエーション・ゲーム・創作活動などを行った。デイホームの中止が相次ぐ中、自宅でも取り組める体操などを取り入れ、フレイル予防につながる内容を行った。
- ③ 防火教室、交通安全教室、消費者出前講座

消防局 防火・救急法教室	6地区	延べ 10回
警察署 防犯教室	8地区	延べ 24回
警察署 交通安全教室	13地区	延べ 27回
市自転車利用促進課 交通安全教室	16地区	延べ 51回
市消費者センター 出前講座	6地区	延べ 15回

市政出前講座 3地区 延べ 15回

④ 「おうちでもデイホームセット」を活用した見守り及びフレイル予防の実施

中止となった会場エリアの利用者や参加を控えている利用者を対象に、間違いさがしや創作キットなどの脳トレ資料と健康情報、自宅でも取り組める体操などの資料を組み合わせ「おうちでもデイホームセット」として配布。見守り活動を兼ねた活動として行った。

実施地区 47地区

実施者 延べ 11,138名

協力者 延べ 1,728名

(3) 自治会型デイホーム事業運営委員会の開催

各地区社協単位で開催 48地区社協 計114回

(4) 会議・研修会の実施

① 専任職員定例会の開催 年8回

② 専任職員採用予定者研修

2月15日(火)～18日(金) 4日間 新規採用 3名

③ 専任職員研修会

第1回 開催日 7月26日(月) 参加者47名

内容 講義・実技 「救急法」

講師 福井市消防局

第2回 開催日 10月25日(月) 参加者47名

内容 講義「高齢者の食事について～フレイル予防に取り組みましょう～」

講師 福井市フレイルトレーナー

管理栄養士 西端 志保氏

第3回 開催日 11月29日(月) 参加者47名

内容 講義・実技 「フレイルって何だろう～運動編～」

講師 公益財団法人 福井県健康管理協会

健診サービス課健康支援グループ課長補佐 釣部 雄史氏

(5) 利用促進事業

DVD プレーヤー及びプロジェクター、スクリーン等を貸し出し、各種講座を開催した。また、教養講座として、介護予防のための体操講座、フラワーアレンジメント講座や和菓子講座等を開催し、利用促進を行った。

貸出実績 4回 (前年度 7回)

教養講座回数 31回 (前年度 28回)

3 ふれあい食事サービス事業

希望するひとり暮らし高齢者等の健康増進、孤独感の解消、見守り活動を目的に49地区社協が実施主体となり食事サービス事業を実施した。

今年度はコロナ禍で、公民館の使用が制限されたことから調理ではなく、業者の弁当を配食した地区が多かった。

(1) 実施回数、食数 ※ () 内の数字は前年度実績

実施地区	49地区
実施回数	延べ390回 (337回)

形態	配食	延べ 389 回 (336 回)
	会食	延べ 1 回 (1 回)
提供食数		延べ 13,667 食 (12,296 食)
利用実人数		2,243 名 (2,442 名)
協力者数		延べ 2,378 名 (3,673 名)
運営委員会開催		延べ 139 回 (128 回)

- (2) 衛生管理・食中毒予防対策
使い捨て手袋、マスクを各地区に配布。
- (3) 地域福祉リーダー研修会 (中止)

4 ボランティアセンター事業

若い世代のボランティア参加を促進するため、高校生向けのボランティア体験やバリアフリーチェックを実施し、新型コロナウイルスにより機会が激減しているボランティア活動への参加の機会を設けた。

また、新型コロナの感染拡大防止策を講じながら、ボランティアルーム等の利用促進やボランティア講座の開催により、活動の機会の提供を行った。

さらに、地域ぐるみで福祉教育を推進する時は、学校等と協議しながら感染予防対策を十分に行い、福祉体験プログラムの充実に努めた。

市総合ボランティアセンターの運営や連携について定期的な協議の場を設けた。

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティアセンターの利用件数 675 件 (前年度 1,003 件)

② ボランティアの需給調整 ※ () は前年度の数字

項目	件数	備考
1. ボランティア相談	316 件 (529 件)	
i ボランティア活動希望	75 件 (211 件)	
ii ボランティア派遣希望	151 件 (142 件)	
iii その他の相談	90 件 (176 件)	企画相談、預託等
2. ボランティア相談マッチング数	303 件 (373 件)	
i 活動紹介	215 件 (246 件)	
ii 情報提供	74 件 (89 件)	
iii 他機関紹介	0 件 (1 件)	
iv 広報	0 件 (8 件)	
v その他	14 件 (29 件)	

③ 福井市社協ボランティアセンター新規登録者数 6 名 (男 3 名、女 3 名)

④ ボランティア活動者の把握数 ※ () は前年度の数字

個人	—	447 名 (389 名)
団体	276 団体 (275 団体)	10,375 名 (9,380 名)
合計	276 団体 (275 団体)	10,822 名 (9,769 名)

⑤ 物品の預託

個人・団体・企業等から、飲料水・タオル・使用済み切手・使用済みテレカ他の物品の預託を受入し、福祉施設・団体・ボランティア活動者等へ払い出しを行った。

⑥ ボランティア講座の開催

ア 高校生等ボランティア体験講座 【活動計画 No.7】
(ブックサイクルと絵本の読み聞かせ)

(ア) 準備ボランティア

開催日 7月29日(木)、8月2日(月)、8月5日(木)
会場 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA
内容 当日に向けての絵本の消毒、本棚づくり、看板づくり等
参加者 高校生、社会人延べ29名
その他 絵本の寄附61冊(市内2企業から協力)

(イ) 当日ボランティア

開催日 9月23日(木)
会場 ショッピングシティ・ベル2階 ふらっとベル北側
内容 ブックサイクル、絵本の読み聞かせ、エプロンシアター等
参加者 高校生6名、ボランティアグループ4名
来場者 約200名

イ バリアフリー&ユニバーサルデザインチェック

開催日 9月19日(日) ※同日開催「カーフリーデー2021 ふくい」の一環
会場 田原町駅前広場・田原町駅・西別院駅・福大前西福井駅 他
内容 ・田原町駅周辺のバリアフリー・ユニバーサルデザインチェック
・壁新聞展(3月14日(月)~4月28日(木))

参加者 高校生13名、社会人2名

ウ ボランティアコーディネーション研修オンラインセミナー

(ボランティア受入スキルアップ研修、市総合ボランティアセンター共催)

開催日 2月17日(木)
内容 講義、グループワーク
講師 認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会
副代表理事 青山 織衣氏

参加者 15名

⑦ ボランティア情報の発信 【活動計画 No.16】

ア ボランティア情報紙の発行

回数 年6回発行
部数 3,000部(ただし、社協だより発行月は3,600部)
設置先 金融機関、公民館、地区社協、高等学校等 284か所

イ ホームページ、Facebookによる情報提供(随時)

⑧ 男性のボランティア活動の推進 【活動計画 No.9】

令和2年度の講座修了後、グループ「昔あそび教え隊」を立ち上げ、毎月定例会を開催し情報交換を行った(新型コロナウイルスの影響を受け、10月から中止)。

⑨ お話し相手ボランティアのスキルアップ

令和2年度に養成したお話し相手ボランティアのモチベーションとレベルの向上、ボランティア同士のつながりを強化するため、定期的に「お話し相手ボランティアのサロン」を開催した。

開催日 4月、6月、7月、9月、10月、12月 第3日曜日
会場 オープンサロンふらっとベル
内容 情報交換、交流、ふらっとベルに来られた方のお話し相手など
また、スキルアップ研修は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。

⑩ 雪かきボランティア受入れ窓口の開設及びボランティア募集

市内在住の障がい者や高齢者の非課税世帯で、同居又は近隣に親族・親戚等がなく自力での雪かきが困難な方を対象に12月1日から翌年3月15日まで開設した。※（ ）は前年度の数字

雪かきボランティア相談数	108件（131件）
ボランティア活動希望者数	19名（39名）
ボランティア依頼世帯数	9世帯<障がい者5世帯、高齢者4世帯>（25世帯）
ボランティア活動日数	9日（7日）
ボランティア活動者数（延べ）	75名（72名）

⑪ ボランティア連絡協議会への支援

ボランティアグループや個人ボランティアが加入し、情報交換や研修等を行っているボランティア連絡協議会の主催行事等の支援協力を行った。

ア 第43回ユニークダンスパーティー（コンサート）

開催日 12月5日（日）

会場 福井市民福祉会館2階 小ホール

イ 自主映画上映会「ゆずり葉」（東日本大震災チャリティー）

開催日 3月6日（日）

会場 福井市民福祉会館2階 小ホール

⑫ 福井市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録利用申請（令和4年3月31日現在）

福井市民福祉会館福祉関係ボランティア団体登録（47団体）

登録団体の内、ボランティアルーム設置の保管庫の利用（24団体）

登録団体の内、ボランティアルーム設置のコピー機の利用（21団体）

ボランティアルーム利用人数（4,929名）

⑬ ボランティア活動保険

ア 加入受付数5,739名（前年度5,806名）

イ ボランティア保険等の加入のための普及啓発

⑭ 車椅子の貸出し53件（前年度41件）

⑮ マスコットキャラクター「ふくみん」着ぐるみの貸出し2件（前年度0件）

⑯ 「福井市ボランティアネット」の運営協力

(2) 福祉教育の推進

① 学校での福祉体験講座などへの支援協力

相談・コーディネート等116件（前年度66件）

② 学校での福祉体験講座（講師） 延べ90校（前年度51校）

③ 中高生向けまちづくりワークショップの実施

【活動計画No.4】

※詳細は30Pに掲載

④ 教職員目的別研修（市教育委員会との共催）

【活動計画No.3】

開催日 8月20日（金）

方法 オンライン（Zoom） 県独自緊急事態宣言を受け変更

内容 講義

講師 岡島 喜謙 氏（福井県立盲学校教諭）

参加者 13名

⑤ 市内高校への学校訪問（ボランティア活動の普及啓発活動）

～各校のボランティア活動の現状と今後の活動について情報交換～ 【活動計画 No.7、16】

	学校名	学校訪問日
1	足羽高等学校	6月23日(水)
2	仁愛女子高等学校	6月30日(水)
3	北陸高等学校	6月18日(金)
4	啓新高等学校	10月5日(火)

～各校JRC部との連携～【活動計画No.7、16】

	学校名	学校訪問日
1	羽水高等学校	7月7日(水)
2	福井商業高等学校	11月10日(水)

(3) 関係機関団体との連携、協働活動の推進

福井市総合ボランティアセンター運営委員会への参加

第1回 開催日 10月22日(金)

内容 減免認定団体の審査、総合VC令和2年度事業報告、令和3年度事業計画

第2回 開催日 3月4日(金)

内容 減免認定団体の審査、総合VC事業報告、次年度の事業計画

(4) 災害への対応

① 福井市災害ボランティアセンター連絡会への参画

第1回 開催日 7月27日(火)

内容 令和2年度事業報告と令和3年度事業計画、新型コロナウイルス感染症の対応について 他

第2回 開催日 12月15日(水)

内容 連絡会内部研修の実施内容について 他

第3回 開催日 3月23日(水)

内容 令和3年度の事業報告と令和4年度事業計画(案)について

② 研修会への参画

・設置運営図上訓練

開催日 2月1日(火) 13:00～15:00

内容 設置・運営に係るタイムラインに沿った図上訓練

会場 福井市総合ボランティアセンター研修室

・内部研修会(構成団体対象 市防災士の会)

開催日 3月19日(土)(中止)

③ 豪雨被害への対応

7月29日(木)発生した福井市西部での集中豪雨の被害に見舞われた地区でボランティアによる泥出しなどの対応を行った。

・活動期間 7月30日(金)～8月2日(月)

・被災者からのニーズ 2軒(すべて清水西地区)

・ボランティア活動者 延べ12名(主に市内在住の方)

・タオルの寄贈と配布 5,134枚(ライオンズクラブ国際協会334-D地区)

5 共同募金配分金事業

福井市共同募金委員会からの助成を受け、市社協で広報啓発事業や見守り支援事業、地区社協では地域福祉活性化事業などを行った。

(1) 広報啓発事業

- ① 社協だより「まごころ」の発行
年4回 各82,500部(全戸配布)
- ② ボランティア情報紙の発行
回数 年4回発行 ※6回中4回分を発行
部数 3,600部

(2) 見守り支援事業(P7~8参照)

- ① 福祉委員設置助成
福祉委員設置地区 49地区(1,604名)
福祉委員活動推進費補助 1名につき2,000円
- ② 福祉委員委嘱式・新任福祉委員研修会(中止)
- ③ 地域支え合いマップ作成
地区の要望に応じて、地域支え合いマップを作成した。
- ④ 子ども福祉委員事業の実施
子どもたちに地域の見守り活動に参加してもらうことで、お年寄りの存在や大切さを感じてもらうことを目的に、コロナ禍でも地域と交流できるよう工夫しながら活動を行った。
実施校 鶉小学校4年生(1クラス)
期間 令和3年10月~3月
内容 事前学習(講話や体験学習)、子ども福祉委員活動ノートを活用した地区社協や保護者との感想のやり取り、高齢者(地区社協役員)へのインタビュー、宝珠苑利用者とオンライン(Zoom)でゲーム等交流
協力者 鶉小学校児童・保護者・教職員等、鶉地区社協、宮ノ下地区社協、宝珠苑(利用者・職員)

(3) 地域福祉活性化事業助成 49地区 787,100円
前々年度大口募金実績額に基づき地区社協に助成した。

(4) 歳末たすけあい配分金事業

- ① 障害者ふれあい交流事業助成
- ② 地域支え合いマップ作成(再掲)

(5) 緊急災害援護配分金

20,000円(火事見舞い10,000円×2件)

6 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等に対し、福祉サービス利用援助、日常的金銭管理及び書類等の預かりを行い、判断能力に不安のある方々の地域生活を支援した。精神障がい者や触法障がい者、認知症の親と知的(精神)障がい者の同居世帯に対する相談支援等、複合的に課題を抱えた困難ケースについても関係機関と連携して対応した。

(1) 利用状況

- ① 契約件数累計 571件(うち令和3年度の新規契約件数 20件)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計(前年度)
332件	98件	132件	9件	571件(551件)

② 現利用者件数 146 件（令和 4 年 3 月 31 日現在）

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計（前年度）
51 件（23）	38 件（8）	56 件（24）	1 件（0）	146 件（148 件）

※利用者のうち生活保護受給者 55 名（37.7%）

※（ ）内は生活保護受給者

(2) 相談状況

本事業の利用に関するもの				合計（前年度）
認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	
1,581 件	725 件	1,606 件	56 件	3,968 件（3,301 件）

(3) 成年後見制度への移行状況

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計（前年度）
5 件	0 件	2 件	0 件	7 件（11 件）

(4) 広報啓発活動

本会ホームページに事業広報ページ掲載

7 生活福祉資金貸付事業

失業者世帯や低所得世帯を対象に総合支援資金や教育支援資金等の生活福祉資金貸付制度に関する相談を受けた。引続き新型コロナ特例貸付のため臨時相談員を配置し、所得が減少した世帯の相談を受付けた。また、県社協による滞納案件の償還指導等に協力した。

(1) 通常貸付

相談件数	延べ 114 件（前年度 234 件）
申請件数	延べ 11 件（前年度 46 件）
貸付件数	延べ 8 件（前年度 45 件）
市内貸付件数（県社協受付分含）	11 件（前年度 53 件）
（内訳）総合支援資金	0 件（前年度 1 件）
福祉資金	4 件（前年度 9 件）
緊急小口資金	5 件（前年度 21 件）
教育支援資金	1 件（前年度 14 件）
臨時特例つなぎ資金	1 件（前年度 8 件）
貸付総額	2,916,600 円（前年度 6,587,630 円）

(2) 新型コロナ特例貸付

貸付件数	2,294 件（前年度 3,003 件）
貸付総額	927,392,000 円（前年度 1,038,470,000 円）

8 法人後見事業

本会が法人として成年後見制度に基づく成年後見人等を受任し、判断能力が不十分な方の財産管理や身上監護を行った。

(1) 利用状況

① 受任件数累計 3件(うち令和3年度の新規受任件数 2件)

成年後見	保佐	補助	合計
2件	1件	0件	3件

② 現受任件数 1件(令和4年3月31日現在)

成年後見	保佐	補助	合計
2件	1件	0件	3件

(2) 相談件数 8件(一般的な制度についての相談、受任に関する相談等)

(3) 受任調整件数 2件

Ⅲ 子ども・子育て支援事業

<拠点区分3>

1 児童館事業

地域における児童健全育成の活動拠点としての機能強化を図るため、全児童館において土曜日を中心に季節行事、伝統行事及び地域と連携した行事、運動スポーツ、造形創作を年9回以上実施した。また、児童館だよりの自治会回覧や児童館ホームページを通じて児童館の周知を図った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため福井県緊急事態宣言及び福井県感染拡大特別警報時は休館した。

(1) 児童館の管理運営(合計25館)

資料6

つばき、ひまわり、さざんか、とちのき、もくせい、とまと、すいせん、すずらん、ふじ、もみじ、こすもす、くすのき、たちばな、あさがお、たんぽぽ、すみれ、どんぐり、くるみ、つくし、すぎのこ、まきやま、たけのこ、さくらんぼ、ちゅうりっぷ、まつのき

① 職員体制 館長 25名、児童厚生員 49名、代替厚生員 1名

② 開館日 月～土曜日(日曜日、祝日及び年末年始は休館)

③ 開館時間 12:00～18:00(長期休業中は8:30～18:00)

④ 利用者数 延べ 270,116名(前年度 245,918名)

(内訳) 一般来館者数 延べ 13,761名(前年度 13,141名)

放課後児童会利用児童 延べ 256,355名(前年度 232,777名)

⑤ 地域連携行事参加者数 延べ 27,352名(前年度 19,885名)

⑥ ボランティア活動者数 延べ 243名(前年度 1,250名)

※げんキッズ育成事業の実績も含む。

(2) 児童館長会議の開催(6回 9月は同じ内容による分散開催)★

開催日 4月20日(火)、6月15日(火)、9月15日(水)、9月17日(金)、
9月22日(水)、11月2日(火)、1月25日(火)、3月1日(火)

(3) 児童館職員研修の実施 ★

① 児童館館長研修会

開催日 6月15日(火)

会場 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームA

内容 ハラスメント研修(パワハラ・アサーティブコミュニケーション)

講師 中村 まゆみ 氏(メンタルヘルス対策促進員)

参加者 館長、クラブ長 30名

② 児童館職員現任研修会

・第1回

開催日 10月12日(火)

会場 福井市民福祉会館2階 小ホール

内容 講義「愛着とその障害について」

講師 仁愛大学人間生活学部子ども教育学科 准教授 乙部 貴幸 氏

参加者 館長、厚生員 88名

・第2回

開催日 12月7日(火)

会場 福井県社会福祉センター 体育館

内容 伝承遊び(けん玉・コマまわし)

講師 けん玉 日本けん玉協会 普及員 仁科 章 氏

コマまわし 富士屋玩具 店長 藤井 繁広 氏

参加者 厚生員 55名

・第3回

開催日 1月11日(火)

会場 福井市民福祉会館2階 小ホール

内容 講義「児童虐待の早期発見と通告のポイントについて」

講師 福井県総合福祉相談所 こども・女性支援課長 横道 みゆき 氏

参加者 館長、厚生員、クラブ長、子育て支援専任職員 81名

③ 令和3年度新採用職員フォローアップ研修

開催日 11月25日(木)

会場 福井市民福祉会館4階 ボランティアルームB

内容 児童館・放課後児童会の業務についての質問・回答

会計・庶務について

講師 児童館担当職員

参加者 館長、厚生員 13名

④ 児童厚生員連絡会

開催日 12月7日(火)

会場 福井県社会福祉センター 体育館

内容 グループワーク(事業計画作成)

講師 児童館担当職員

参加者 厚生員 55名

(4) 児童館事業の広報活動 ★

① 児童館だよりの自治会回覧

② 市社協ホームページで各児童館活動紹介

③ 児童館のしおり「遊びにいこうよ!みんなの児童館」発行

④ 保健衛生推進員を通じた子育てひろばチラシの配布

(5) 施設の修繕 ★

たけのこ児童館監視カメラ取替修繕他 13件

(6) げんキッズ育成事業の運営

小学校の余裕教室を活用して学校内で児童館事業を実施し、小学生を対象とした地域の放課後の居場所づくりを行った。

- ① 開設場所 春山小学校「さくらじどうかん」、足羽小学校「あじさいじどうかん」、旭小学校「さつきじどうかん」
- ② 職員体制 館長3名、児童厚生員6名
- ③ 開館日 月～土曜日(日曜日、祝日及び年末年始は休館)
- ④ 開館時間 12:00～18:00 (長期休業中は8:30～18:00)
- ⑤ 利用者数

延べ	20,959名	(前年度	19,209名)
(内訳) 一般来館者数	延べ	1,038名	(前年度 958名)
放課後児童会利用児童	延べ	19,921名	(前年度 18,251名)
- ⑥ 地域連携行事参加者数 延べ 1,881名 (前年度 855名)
- ⑦ ボランティア活動者数 延べ 47名 (前年度 278名)

※児童館事業の★の事業はげんキッズ育成事業でも実施。

(7) 移動児童館の運営

もくせい児童館を拠点として、東足羽2地区の公民館、集会所等を利用して児童厚生員が出向いて移動児童館事業を実施した。

巡回会場	一乗、六条
実施回数	延べ 2回 (前年度 2回)
利用児童数	延べ 23名 (前年度 25名)

2 放課後児童会事業

児童館に放課後児童会を開設し、保護者が共働き等の理由で放課後家庭にいない児童を預かり、生活の支援を行った。新型コロナウイルス感染拡大による小学校の臨時休業に合わせた臨時休会や、放課後児童会での新型コロナウイルス感染者発生による臨時休会を行った。

- (1) 放課後児童会の開設 28会 (児童館で開設)
- (2) 登録児童数 1,444名 (前年度1,486名)
- (3) 支援員研修会
 - 開催日 7月2日(金)、13日(火)
 - 会場 福井市民福祉会館2階 小ホール
 - 内容 児童の安全な見守り方法・支援員自身のけが防止
 - 講師 福井市社北児童クラブ 重森 正雄 氏
 - 参加者 支援員169名
- (4) 放課後児童支援員認定研修の受講 15名 (累計217名)
- (5) 障がい児等の専門カウンセラーの派遣
 - 派遣件数 74件 (前年度56件)
- (6) 不審者対応
 - 全館で緊急通報装置のメンテナンス、作動訓練
- (7) 令和4年度入会希望児童の調整
 - くるみ放課後児童会(社北地区)において、定員を上回ったため、入会の抽選を行った。抽選を外れた児童は、同校区内の他の児童クラブに入会した。

3 放課後児童クラブ事業

木田小学校、日之出小学校、麻生津小学校内で児童クラブを開設し、保護者が共働き等の理由で放課後家庭にいない中高学年の児童を預かり、生活の支援を行った。

放課後児童会事業と同様、新型コロナウイルスへの対応を行った。

日之出小学校内の児童クラブは、同校内で児童クラブを運営している他団体との一体化のため、また、麻生津小学校内の児童クラブは、あさがお児童館の学校内移転に伴うあさがお放課後児童会との一体化のため今年度末で事業廃止となった。

- (1) 児童クラブの開設 3クラブ
- (2) 登録児童数 49名(短期含む)(前年度68名)
- (3) 放課後児童支援員認定研修の受講 1名(累計5名)

4 地域子育て支援拠点事業

子育て中の親子が気軽につどい、一緒に遊びながら交流ができる場所として、福井市清水健康管理センター内で子育て支援室「赤とんぼ」を運営している。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者の受け入れ人数と時間を制限して再開した。

(1) 実施内容

主に3歳までの乳幼児とその保護者が気軽に集う交流の場を設けるとともに、専任職員4名を配置し、相談支援などを行った。

- (2) 開催日 毎週月～金曜日 10:00～16:00
(10:00～正午に6組、13:00～15:00に4組を受け入れ)
- (3) 開催日数 年間239日
- (4) 利用者数 延べ3,304名(前年度2,399名)
- (5) 行事内容
5月21日(金) ベビーヨガ
6月10日(木) 働くための出張相談会
6月25日(金) ミュージック・ケア
7月5日(月) ワイワイ座談会
7月14日(水) 美尻トレーニング
7月15日(木) 歯科栄養士さんに聞いてみよう
7月20日(火) 入園に向けて聞いてみよう
8月5日(木) 子どものための発達相談会
8月24日(火) 働くための出張相談会
9月3日(金) 何でも座談会
9月22日(水) チャイルドシートのはなし
9月27日(月) 保育カウンセラー訪問
10月4日(月) 孫育て講座
10月7日(木) がっちゃんのお話会
10月13日(水) 栄養士さんに聞いてみよう
10月27日(水) リトミック
10月28日(木) ハロウィン
11月5日(金) 防災について考えよう
11月16日(火) ほめ方教室

11月18日(木) ミュージック・ケア
 11月19日(金) ワイワイ座談会
 12月9日(木) クリスマス会
 12月14日(火) 働くための出張相談会
 12月15日(水) 保育カウンセラー訪問
 1月19日(水) 子どものための発達相談会
 1月26日(水) チャイルドシートのはなし
 1月27日(木) 歯科栄養士さんに聞いてみよう
 1月28日(金) ベビーヨガ
 2月3日(木) 節分
 2月16日(水) 美尻トレーニング
 2月18日(金) 働くための出張相談会
 3月3日(木) おひなまつり
 3月4日(金) 何でも座談会
 3月11日(金) ママもリラックス
 3月14日(月)～18日(金) お楽しみ週間
 毎月 お誕生カード

(6) 相談件数 93件(前年度 78件)

5 子育てひろば事業

児童館で、乳幼児とその家族の方々の遊びの場、交流の場として子育てひろばを開催した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7月～9月、2月～3月は中止した。その他の期間は利用者の受け入れ人数を制限して再開した。

- (1) 開催日 毎週木曜日 10:00～11:30 (小学校の長期休業期間は除く)
 (2) 開催数 568回(前年度 309回)
 (3) 利用者数 2,772名(前年度 1,589名)

6 ことばの教室事業

ことばや発達が気になる就学前の幼児とその保護者を対象に『ことばの教室』を開設し、ことばの発達の遅れや発音等について、言語聴覚士や保育士による相談や継続的な療育を行いながら、医療機関受診や福祉サービス利用など、関係機関につなげた。また、必要に応じて、関係機関と情報交換や連携をとりながら適切な支援を行った。

- (1) 開設日 月～木曜日 9:00～17:00 (12/29～1/3は除く)
 第1・第3土曜日 9:00～12:00
 (2) 利用者数 延べ1,039名(前年度 998名)
 実人数 191名(前年度 174名)
 (3) 情報連携会議 6月14日(月)、3月7日(月)
 (4) 医療機関・福祉サービス事業所との情報交換
 平谷こども発達クリニック 6月1日(火)
 福井県子ども療育センター 7月9日(金)
 子ども発達支援センター フレンズあすわ 12月23日(木)

IV 駐車場運営事業

<拠点区分4>

福井市毛矢3丁目7番4号の土地を貸駐車場（5台分）として賃貸した。

駐車場賃貸収入 5台分 241,677円（前年度 216,000円）

V 自動販売機設置運営事業

<拠点区分5>

福井市民福祉会館内 2台 売上 107,741円（前年度 94,592円）

上記のほか、株式会社ウララコミュニケーションズ、湊公民館、啓蒙公民館、株式会社カワカミパワーシステムの4ヶ所に自動販売機を設置いただき、売上の一部29,122円を寄附していただいた。

VI 関係機関団体への支援・協力

1 各種委員会・会議への参加協力(出席者)

- ・福井県社協副会長（会長）
- ・福井県内社協会会長会監事（会長）
- ・福井県共同募金会理事（副会長）
- ・福井県共同募金会配分委員会委員（副会長）
- ・福井市社会福祉審議会委員（会長、事務局次長、地域福祉課長）
- ・福井市交通安全対策協議会（会長）
- ・福井市国民保護協議会委員及び幹事（会長、事務局次長）
- ・福井市防災会議委員及び幹事（会長、事務局次長）
- ・「社会を明るくする運動」福井市推進委員会委員（会長）
- ・公益財団法人福井市ふれあい公社評議員（会長）
- ・公益財団法人ふくしん地域振興協力基金評議員（会長）
- ・福井市民生委員推薦会委員（理事）
- ・青少年育成福井市民会議監事（副会長）
- ・福井刑務所視察委員会委員（副会長）
- ・福井市国民健康保険運営協議会委員（理事）
- ・福井市功労者選考委員会委員（評議員）
- ・福井県共同募金会福井市共同募金委員会運営委員（専務理事）
- ・福井市不死鳥のねがい推進協議会常任委員（専務理事）
- ・福井市明るい社会づくり推進協議会常任理事（専務理事）
- ・福井市中央公民館運営審議会委員（事務局長）
- ・福井市空き家対策協議会委員（地域福祉課職員）
- ・福井市要保護児童対策地域協議会委員(事務局次長、総務企画課担当職員)
- ・福井市放課後子ども総合プラン運営委員会委員（総務企画課担当職員、児童館長）
- ・福井市児童クラブ連絡協議会理事（総務企画課担当職員）
- ・福井市学校不適応対策事業推進会議委員（児童館長）
- ・福井市地域福祉計画策定委員会委員（地域福祉課長）
- ・福井市地域包括ケア推進協議会委員（地域福祉課長）
- ・福井市成年後見制度利用促進連携協議会（地域福祉課長）
- ・福井市障がい者施策推進協議会委員（地域福祉課長）
- ・福井市障がい者差別解消支援地域協議会委員（地域福祉課担当職員）
- ・福井市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（地域福祉課担当職員）
- ・福井市障がい者虐待防止ネットワーク運営委員会委員（地域福祉課長）
- ・福井市自殺対策協議会（地域福祉課職員）
- ・福井市障がい者自立支援協議会全体会委員（事務局次長）
- ・福井市障がい者自立支援協議会居宅生活支援部会委員（地域福祉課担当職員）
- ・福井市障がい者自立支援協議会地域移行・地域定着部会委員（地域福祉課担当職員）
- ・福井市総合ボランティアセンター運営委員（地域福祉課担当職員）
- ・福井市災害ボランティアセンター連絡会座長、委員（事務局長、地域福祉課担当職員）
- ・福井市健康づくり推進協議会（地域福祉課長）

- ・福井市地域福祉計画推進連絡会（地域福祉課担当職員）
- ・福井市介護予防・生活支援サービス検討委員会（地域福祉課職員）
- ・福井市認知症施策検討協議会（地域福祉課長）
- ・福井市消費者センター運営協議会（地域福祉課職員）
- ・福井県内社協職員協議会役員（地域福祉課職員）

2 後援・共催事業

- ・第25回福井シルバーバレーボール交歓全国大会（中止）
- ・障がい者グループホームセミナー 障がい者の将来にわたる安心・快適な暮らしについて
- ・令和3年度第1回福井市空き家無料相談会
- ・いる、みる、つくる、はなす
- ・ふくい健康長寿祭2021（中止）
- ・この時代をアートで元気に 街とふれあい Sabae 彩りアート展覧会
- ・令和3年度 福井市医師会 第20回 市民公開講座
- ・つなぐ福幸メッセ2021～「コロナ禍を生きる、支える」みんなのエール～
- ・第11回福井県障害者フライングディスク大会（延期）
- ・第22回 福井県障がい者ハートフル文化祭
- ・みなぶたフォーラム vol.1 「障害ある人の芸術文化活動をもっと身近に」
- ・令和3年度第2回福井市空き家無料相談会
- ・第43回ユニークダンスパーティー（コンサート）
- ・第3回あじさい元気カラオケ大会（中止）
- ・福井葵ライオンズクラブ主催 第13回福井県障がい者スポーツ大会 知的障がい者ユニファイドボウリング（延期）
- ・第35回三世代合同のつどい（中止）
- ・「ゆずり葉」自主上映会

3 社会福祉援助技術現場実習等の受け入れ

- (1) 福井県立大学 1名
9月27日（月）～10月29日（金）
社会福祉士受験資格修得のための実習
- (2) 福井市医師会看護専門学校 47名
自治会型デイホーム事業での実習
8月23日（月）オリエンテーション 47名
8月24日（火）～9月1日（水）中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
9月2日（木）～9月10日（金）中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）

4 県外社協との連携の推進

- (1) 福井市・富山市・金沢市社協懇談会
開催日 12月10日（金）
開催方法 オンライン（Zoom）
参加者 21名（うち本会職員10名）
内容 全体会と分科会

- 分科会 ① コロナ禍により増加した生活困窮者の支援について
 ② 重層的支援体制整備事業における取り組みについて
- ⑨ (2) 福井市・岐阜市・奈良市社協災害時における相互支援に関する協定
 開催日 2月28日(月)
 開催方法 オンライン(Zoom)
 参加者 19名(うち本会職員6名)
 内容 調印式と研修会「災害時支援協定の意義について」

5 関係団体機関との連携の推進

- ⑩ (1) 福井刑務所における社会貢献作業協定
 開催日 2月21日(月)
 会場 福井刑務所
 参加者 8名(うち本会役職員4名)
 内容 調印式(車いす等のメンテナンス)

Ⅶ 共同募金運動への協力

福井市共同募金委員会の事務局を担い、各種団体の協力を得ながら、赤い羽根共同募金運動を実施した。一般募金、地域歳末たすけあい募金の実績はいずれも、目標額に対しても、前年度実績に対しても下回る結果となった。新型コロナウイルス感染症予防のため、福井市共同募金委員会としての街頭募金は中止した。

【一般募金】

(単位 円)

募金種類	目標額	実績額	差異額
戸別募金	10,800,000	10,751,221	△48,779
大口募金	7,000,000	6,735,742	△264,258
街頭募金	10,000	3,581	△6,419
学校募金	800,000	693,666	△106,334
職域募金	2,350,000	2,313,633	△36,367
法人募金	1,050,000	1,286,264	236,264
その他の募金	700,000	906,438	206,438
合計	22,710,000	22,690,545	△19,455

【地域歳末たすけあい募金】

(単位 円)

募金種類	目標額	実績額	差異額
街頭募金	-	153,723	-
職域募金	-	18,424	-
学校募金	-	7,853	-
その他の募金	-	82,000	-
合計	313,000	262,000	△51,000